

石川県 生協連だより

第100号

石川県生活協同組合連合会
 〒920-0362 金沢市古府2-189
 コーポいしかわ古府センター2F
 TEL076-259-5962 FAX076-259-5963
 http://ishikenren.jp

発行日/2021年1月25日
 発行責任者/長谷川 隆史

4年間の休刊後再開した第78号



A4判になった第21号



大きな節目となる創立50周年記念事業を掲載した第85号



「県連だより」創刊号

第100号までを振り返って

石川県生協連広報誌「生協連だより」は今回で100号となりました。

創刊は今から32年前の1989年です。B5版8ページで、第3回石川県生協大会が特集されています。講演と会員生協の発表、10年勤続表彰が行われ、受表彰者の中には横山顧問、長谷川会長理事のお名前がみられます。

A4判になったのは1994年の第21号からです。

2008年、生協連ウェブサイト開設に伴い一旦休刊となりましたが、4年後の2012年に紙面での情報発信も必要ではと、再開しました。現在は年3回発行し行政、関係団体など130ヶ所に送付、生協連及び会員生協の活動について発信しています。

今回は100号を記念しカラー印刷としました。これからも皆さまに読んでいただける紙面づくりを目指します。

(生協連だより広報委員会)

特集

コロナ禍における対策と工夫

コロナ禍の中で会員生協ではさまざまな対策、活動の工夫などに取り組んでいます。

コープいしかわ

組合員と職員の安全を最優先に！

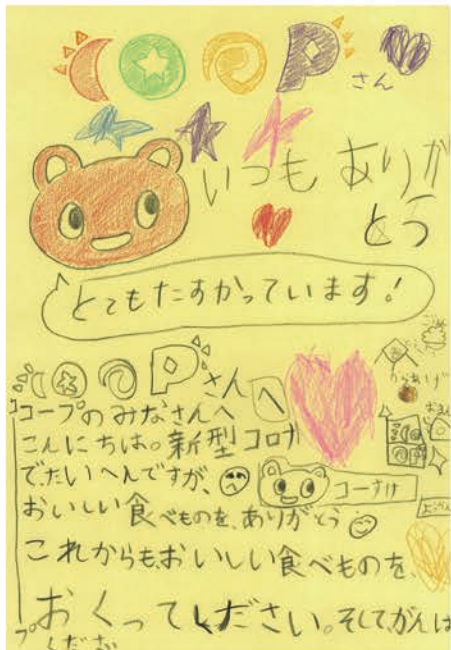
コープいしかわの各事業において組合員と職員の安全を最優先に取り組みをすすめました。

宅配事業では、在宅の方であっても保冷箱ごと玄関に置き、組合員が商品を受け取った後に空箱を回収するといった「対面しない配送」を継続しています。非常事態宣言以降はお届け商品の急増を受けて配送資材の確保や商品仕分け作業の安定稼働など対策に努めました。

店舗事業では営業時間の短縮や折込チラシ、セー

ルの中止など混雑防止に取り組みました。

福祉事業では利用者・職員の感染防止対策の他、グループホームでのリモート面会を実施しました。



組合員のお子さんからいただきました！

そんな中、組合員からは感謝の声

や働く職員へのねぎらいの言葉をたくさんいただき、寄せられた声

が役職員の力となっています。コロナ禍

で組合員の暮らしが変化する中、問

題意識を持つ若手職員で構成する

「新たなつながりづくりプロジェクト」

が立ち上がりました。組合員ど

うし、組合員と職員のこれからの「つ

ながり」を考え、具体化に向けて若

手職員が頑張っています。

(コープいしかわ 佐々木智一)

石川県学校生協

感染予防対策を徹底し、組合員に安心・安全を！

2月下旬、石川県内でもコロナウイルス感染者が確認され警戒が強まる中、安倍元首相による一斉休校の要請が表明されました。

学校生協の現場は学校。児童生徒

は休んでも組合員である教職員は出

勤するのか？そもそも学校に入れる

のか？配送はどうなる？など、様々

な憶測が職場内に飛び交い職員を動

揺せました。注文をいただいた商

品の配送は可能でしたので（地区に

よっては校舎内に入らず玄関先での

受け渡し）、学校をルート配送する

ドライバーは感染予防対策を徹底

し、緊張感を持って業務の遂行にあ

たりました。

外出自粛制限もあり、多くの注文

をいただきましたが、夏場にマスク

を着用しての配送は経験がなく、ド

ライバーはコロナ感染だけではなく、

熱中症の対策もしながらの配送が続

きました。また、県内全域の学校に

訪問していることもあり、コロナ感



感染予防対策を徹底し配送するドライバー

染者0の奥能登地区担当のドライバーは、組合員に不安を与えないよう細心の注意を払い配送業務をおこなっています。

組織的な活動では、会議・会合・組合員交流行事などが中止となりましたが、ホームページや広報誌での情報発信を強化しています。

マスクの着用、手指の消毒、ソーシャルディスタンス。基本的なことですが、今後も感染予防対策を徹底し、組合員に安心・安全をお届けします。

(学校生協 宮一 真実)

金沢医療生協

感染予防チェックリストを作成し活動再開

今年、2月以降の新型コロナウイルス感染症の広がりの中で、報道などでご存じと思いますが、全国の医療機関、介護事業所では受診を控える、利用を自粛していただく、また感染対策費用の増加などにより事業収入の減少などにより、経営状況の悪化は深刻となっております。あらたな「医療崩壊」「介護崩壊」を起す可能性があります。

金沢医療生協でも、健診事業を自粛せざるを得ない状況となりました。緊急事態宣言が解除となった6月から組合員活動を「3密」をさげながら、感染予防チェックリストを作成し活動を再開しました。その後、「いのちの相談ポスター」を張り出し、困りごとに耳を傾け、支え合うまちづくりの取り組み、「コロナに気を付けながら訪問行動をすすめるためのガイドラインに沿った活動」を続けています。

10月には季節型インフルエンザの流行が重なり、新型コロナウイルスとの同時流行が懸念されています。医療生協では重症化予防の対策とし



「3密」をさげながら組合員活動を再開

てインフルエンザワクチンの価格を下げました。

コロナ禍は長期化し、終わりの見えない状況となっております。「かかりつけ医」として利用してもらえたいとができるように今後も取り組んでいきます。

最後に、「うがい、手洗い、マスク着用」を忘れずに。



(金沢医療生協 柴原 ひろみ)

石川県共済生協(こくみん共済COOP)

「オンライン対話サービス(ZOOM)」を開始

こくみん共済COOP石川推進本部では、新型コロナウイルス感染症拡大当初より、組合員・お客様、ならびにグループで働くすべての関係者の感染防止・安全確保を最優先した行動を徹底してきました。

現在、協力団体推進においては、今日の情勢を踏まえ、協力団体および組合員の皆さまの利便性向上を目的に、新たなコミュニケーション手段としてデジタル技術を活用した「オンライン対話サービス(ZOOM)」を開始し、説明会・セミナー・保障相談などで活用しています。

知らず、多くの組合員・生活者の健康や暮らしに不安をもたらし、大きな爪痕を残しています。このような中、全国の役職員が「今できるたすけあい募金」に取り組んでまいりました。募金額に当会の寄付をあわせ、た総額1,000万円を、日本生協連を通じて各生協連(大学・医療)および中央労福協で役立てられました。(石川県共済生協 高橋 智浩)

また、共済ショップでは営業時間の短縮を行い、お客様に安心してご来店いただけるよう、自動検温器・手指消毒器や飛沫防止のパーテーション設置等の感染防止を実施しています。



共済ショップでは飛沫防止のパーテーションを設置

金沢大学生協
安心して食堂を利用していただくために

金沢大学生協食堂では、感染防止対策を講じながら営業しています。組合員の皆様に、手指消毒、間隔を空けて列に並ぶこと、マスク着用、座席指定やホール利用を食堂利用に限定するなどの対策にご協力いただいています。

また、列やカウンターでの混雑緩和と衛生管理のため、メニューを絞り込んだ「テイクアウト容器」や「定食形式」での提供を行っています（10月現在）。11月からは、夕食用弁当の注文サービスも開始します。



また、教科書購入においては、webから注文いただき、宅配でお届けする等の対応を行っています。組合員の皆様には、ご不便や感染

対策のために必要となる費用（テイクアウト容器代、宅配送料）のご負担などのご迷惑をおかけしていますが、趣旨をご理解いただき、ご協力いただいている状況です。感染拡大状況や経営状況（感染症拡大により、登学禁止や遠隔授業の影響で利用が激減し今年度は6千万を超える赤字を見込む）をみながら、今後も柔軟に対応していきたいと考えています。

（金沢大学生協 井上 美紗子）



食堂テーブルに設置された十字型塩ピ版と購買カウンター前の塩ピ版と奥には天井吊り下げ型の感染防止対策における店舗利用POPの掲示

石川高専生協
Webで新生活様式での生協店舗利用方法を発信

石川高専生協ではコロナ感染防止対策として、対面授業が再開する8月31日に向け、食堂の飲食テーブル32台のすべてに十字型の塩ピ版の設置、同じく食品提供カウンターについてもすべての面に塩ピ版の飛沫感染防止スクリーンを設置、また購買についても同様に、レジカウンターやサービスカウンターに同スクリーンを設置しました。

その他、店内には天井吊るし型の感染防止に準じた店舗利用ポスターの掲示、入口や店内には手指用のアルコール消毒液の設置を行いました。店内の3密を抑えるため、学校主催で学生向けに行われた「高専での新しい生活様式」としてwebによる全体授業に生協も参加させて頂き、そこで感染防止対策を前提とした生協店舗の利用方法を発信しました。

（石川高専生協 谷口 修）